

庁舎	横須賀地区
受入担当研究室	空港研究部 空港施設研究室
キーワード	空港，舗装，ACR，PCR，ICAO
受入研究課題	ICAOのACR及びPCRの算出方法を応用した空港舗装の支持力評価手法に関する基礎的研究
課題内容	1981年から全世界で使用されてきたACN及びPCNに代わり，2024年からICAOが導入したACR及びPCRの算出方法を応用した空港舗装の新しい支持力評価手法に関する基礎的研究を実施する。
関連リンク	坪川：空港舗装のPCR算出方法の研究，国総研資料，No. 1256，2023. https://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn1256.htm
求められる 関連業務実績	空港施設の調査，設計，維持管理に関する業務。
研修成果目標	<ul style="list-style-type: none">・ ICAOが導入したACR-PCR法に関する専門知識の習得・ 我が国の空港舗装設計法に関する専門知識の習得・ 国総研資料としての成果のとりまとめ
研究課題の今後の社会への影響について	航空局：空港土木施設設計要領（舗装設計編）へ反映され、空港舗装の新しい構造評価手法として用いられる可能性がある。
指導内容	<ul style="list-style-type: none">・ 論文指導・ 成果発表指導・ 勉強会
受入研究課題に関連するその他の研究室等の有無	無